

## 1. この歳になって・・・

長男が小学生の頃(現在中学2年生)、一冊の本(「札幌の昆虫」木野田君公著)に出会い、昆虫の魅力に引き込まれていきました。子供の昆虫探しに付き合っていくうちに、現在50歳目の私と一緒に引き込まれました。私は九州の田舎育ちのため身近に多くの虫がいましたが、子供の頃に仲間とクワガタを獲って小遣い稼ぎをすること以外、気にすることはありませんでした。普段ムシにしか見えなかった昆虫たちが、興味を持てば無視できない貴重な宝物に見えてきます。

近年はトンボを追いかけています。飛んでいるトンボの後ろ姿は、飛行機のように優雅ですと見ていられます。トンボは種によって大きさ、色、形態、生態など様々です。詳細は図鑑などを参照いただくとして、本稿では私が「粋だな!」と思ったことについて紹介させていただきます。

なお、記述内容は誤りがあるかもしれません。にわか仕込みですのでご容赦願います。



写真-1 トンボ獲り(夏場の水辺なのでムシ暑い)

## 2. トンボの名前

トンボは国内で200種程度が確認されており、それぞれ和名が付けられています。今回は興味深い

名前を中心に紹介します。

### (1) 色による名前

トンボの眼、胸、腹、脚、翅には色や模様が付いています。「赤とんぼ」など、色でトンボを呼ぶことがあります。トンボには多くの色が名前に使われています。シロ(白)、クロ(黒)、アカネ(茜)、ベニ(紅)、キ(黄)、アオ(碧、蒼、青)、ルリ(瑠璃)、ギン(銀)、などの色があり、トンボの魅力を引き出しています。このほかショウジョウトンボはきれいな濃い赤色をしており、猩々緋(しょうじょうひ)の色に由来するようです。以前、アオヤンマ(写真-2)を捕まえた時に体が黄緑色をしていて、「青くないのにアオヤンマ?」と疑問に思っていたましたが、「碧」の意味のようです。



写真-2 アオヤンマ (白黒印刷だと色はわかりませんが、黄緑色です。筋肉質な体つきがかっこいい)

### (2) 模様による名前

顔、胸、腹、翅の模様によって名前がつけられています。黒い筋入りの「クロスジ」、斑模様の「マダラ」、ほかに「アオモン」、「ルリボシ」、「ヨツボシ」など模様の特徴に沿って名付けられています。「コフ

キ」と名付けられた、粉を吹いているような質感のトンボもいます。私が「粋だ!」と思った名前は「コシアキトンボ」です。下の写真(写真-3)を見て、名付けた意味がわかりますか?



写真-3 コシアキトンボ

### (3)形態による名前

トンボの形をイメージするといっても、イトトンボやオニヤンマのようなすらっとした体型が頭に浮かんでくるかもしれません。トンボは翅や体のバランスが相似になっているのではなく、種によって体型が異なります。ホソミ、ハラボソ、ハラビロ、コシボソ、コシブト、オナガ、コバネ、ハネナガ、ハネビロといった特徴が名前に含まれています。下の写真(写真-4)のトンボの名前は何か? ヒントは上の文章に名前が挙げられています。



写真-4 名前は? (腹部の大きさに注目です)

### (4)似ていることで付いた名前

コオニヤンマという名前のトンボがいます。このトンボは、オニヤンマ科やヤンマ科ではなく、別の科(サナエトンボ科)に属します。見た目オニヤンマに似ている? ことからこの名前を付けられたかもしれません。コオニヤンマ自身はこの名前を喜んでい

るのでしょうか?

### 3. トンボ探し

トンボには池(沼)、湿地、川、沢、草むらなど種によって生息箇所が棲み分けられているように思えます。また、天敵を避けるため早朝や日暮れ時の薄暗い時間帯のみ活動するような種類もあります。また、トンボは秋に出てくるイメージのようですが5月～10月には見ることができます(種によって出現時期が変わります)。

トンボ探しには、時期と場所、天候が非常に重要です。道東方面に行くとなると、休日は4時頃からは出発することも度々あります。仕事では起床すら辛いこともあります、トンボ探しでは目覚ましが鳴る前に起きることができます。

トンボ獲りでは息子は生き活きとして、日常で見られない表情をしています。追いかけて回していたトンボを捕まえたときは感動を共有しています。

### 4. おわりに

今回、名前の紹介が多くなりましたが、興味の無い方にとってはつまらないものとなっているかもしれません。しかしながら、野外でトンボを見かけて「トンボ」と思うだけでなく、「シオカラトンボだ!」、「ギンヤンマだ!」といった、特徴を見て名前を調べることで興味が沸くものと思います。

名前を覚える(特徴を把握する)といったことは、我々でも人付き合いをしていく上でも大切なことかもしれません。相手をしっかりと見て興味をもつことで、名前を覚えることができ、円滑な人付き合いが出来るのかもしれません。

安 元 和 己 (やすもと かずみ)

技術士(応用理学部門)

株式会社ドーコン

